

Wish

世界の子どもたちのために

vol.70

2023年5月号



CONTENTS

EVENT REPORT

2-5 第21回 **ユニセフのつどい**

6-7 **活動ファイル**
2023年1月～4月

8 **お知らせ**

第21回 ユニセフのつどい

Unicef Festival

世界のともだちと
心をつなごう

ユニセフのつどいは年1回開かれる
兵庫県ユニセフ協会のお祭りです。
今年も世界の子どもの幸せを願って
幼い子どもから学生さんやベテランの皆さんまで
幅広い年代の人たちが集い、交流を深めました。
久しぶりに会場にはコーヒーの香りが漂い
ブースでの会話も弾み
高校生のパフォーマンスからは
若いエネルギーをもらいました。
笑顔あふれ、未来に向けた一歩となった
つどいの様子をお届けします。



Data イベントデータ

日時 2023年3月4日(土)
会場 コープこは生活文化センター(神戸市東灘区)
/オンライン
参加者 240人
後援 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、
(公財)兵庫県国際交流協会、JICA 関西、
(一社)兵庫県子ども会連合会、コープこは
協賛 神戸YMCA、神戸YWCA

プログラム

■わくわくマルシェ/ユニセフひろば

■講演

「誰一人子どもを取り残さない世界を目指して」

講師 根本巳欧さん

(UNICEF シリア事務所副代表)

■パフォーマンス

神戸市立須磨翔風高等学校和太鼓部「大地」

募金をいただきました

2022年度に兵庫県ユニセフ協会を通じて寄せられた募金総額は1億5909万3283円に上りました。外国コインでもご協力いただきました。また神戸市立鷹取中学校の生徒会のみなさんがユニセフのつどいに参加し、募金を届けてくれました。ありがとうございました。



LECTURE 講演

誰一人子どもを取り残さない世界を目指して

2月6日早朝、トルコ・シリアとの国境付近で発生した大地震とその後続く余震によって、シリアでも甚大な人的・物的被害に見舞われています。シリアが置かれた厳しい状況とそこでの緊急人道支援をシリアにいる根本さんからオンラインで聞き、私たちにできることを考えました。



左上:スポーツセンターに避難している人たち

右上:レクリエーションに参加する子どもたち

中央:市内の病院

左下:ユニセフが支援する学校

右下:地震の前から紛争のため学校に行っていなかったと語る少女

シリアの現状

根本さんがシリアへ赴任のため出発準備をしていた時にトルコ・シリア地震が発生。急ぎ予定を早めシリアに入ったのは震災から2日後でした。

まず、緊急支援プログラムを立てるため、自治体の関係者に会い被災状況を確認しました。氷点下の凍てつく寒さの中で、震源に近いシリア北部地域では人々がパニックに陥っていました。度重なる余震で家が崩れ、シリア全体では370万人の子どもを含む880万人以上、日本の大都市の人口くらいが被災し、学校や公民館、モスクなどで避難生活を送っています。シリアは12年にわたる国内紛争の影響で多くのインフラが破壊されています。それに加え、経済状況の悪化、物価の上昇、更には去年の暮れから北部の一部地域でコレラがまん延していました。そこへ地震が追い打ちをかけたのです。地震が起きた地域は反政府側が支配する地域も含まれており、政府側からも支援物資の運び込みを試みてはいますが、迅速な支援のためトルコ側からも運び込まなくてはなりません。ユ

ニセフは他の国連機関と協力し、トルコ側にも拠点を置き、緊急物資を備蓄し、送ったり、NGOと共に支援活動を行っています。

北部の都市アレppoでは紛争の影響で不発弾が埋まっているところもあります。根本さんらユニセフの職員は、セキュリティに十分配慮し被災地に入り、専門家立ち会いのもと上下水道などのインフラを点検して状況を把握し、これからの復興に向けての分析を行いました。

そして、不安を覚えたまま生活している子どもたちや家族の心のケアは喫緊の課題です。更にコレラのまん延もあるので、いかにきれいで安全な水を提供するか、トイレを設置するかなどが大きな課題になってきます。

ユニセフの取り組み

緊急対応として、学校や避難所に人道支援物資や給水車により安全な水を届けています。

保健・栄養分野では、保健チームを組織し各地の避難所を回りながらサービスを提供しています。

心のケアと学習の機会を確保するため、避難所

トルコ・シリア地震の
緊急支援募金に
ご協力ください。

郵便局(ゆうちょ銀行)

振替口座:00190-5-31000

口座名義:(公財)日本ユニセフ協会

*通信欄に「自然災害」と明記願います。窓口での振り込みの場合は、送金手数料が免除されます。詳しくは8ページをご覧ください。



みおう
根本 已 欧 さん

日本の大学を卒業後、米国大学院で公共行政管理学及び国際関係論の修士号を取得。外資系コンサルティング会社を経て、日本ユニセフ協会に勤務。その後、2004年JPOとしてUNICEFシエラレオネ事務所へ赴任。モザンビーク、パレスチナ・ガザ、東アジア・太平洋地域、東京の各UNICEF事務所勤務を経て、2023年初めからシリア事務所副代表。

となっている学校の空きスペースにテントを張り、子どもに優しい空間としてレクリエーションキットを配り、子ども向けの様々な活動を提供しています。地元のNGOと共に、人形を使って子どもたちの地震への不安を取り除くメッセージも送っています。

ユニセフは、“^{ビルドバックベター}Build Back Better”、地震発生以前からあった問題も復興支援を通じて解決することを理念としており、資金が必要です。今後200億円以上の緊急支援が必要と言われていますが、現状で手当てできている資金は1/5程度です。

私たちに何ができるか

誰一人取り残さないため私たちができる重要な「3つのA」があります。

- ① Awareness (知ること) ^{アウェアネス}ユニセフのウェブサイト、ニュースサイトを見るなど身近なところからシリアの子どもたちの現状を知ることです。
- ② Action (行動すること) ^{アクション}いろいろな事・形でボランティア活動ができると思いますが、募金も重要なアクションです。
- ③ Accountability (政府や自治体に求めること) ^{アカウンタビリティ}政府や自治体に国内の子どもたち、国内の難民の子どもたちを守っていけるような優しい政策を求めていくことも重要です。

参加者の質問の中から ひとつ紹介します。

Q 阪神淡路大震災から28年、どのように教訓を世界に発信生かしていくか。

A 今日のシリアの復興には長い道のりが必要と思う。昔シリアは経済的にも発展し福祉も進んでいた。今は3種混合のワクチンも難しい状況である。どれくらいの期間、どれくらいの資金が必要か世界が考えている。子どもたちのことを忘れないようすることが大事。

MARCHE

わくわくマルシェ

国内外で支援活動を展開する団体がブースを出展し、支援商品の販売や活動を紹介。お買い物や情報交換から、新たな発見のあるにぎやかな交流の場になりました。

◀ ブースの様子をインタビュー。オンラインでも配信しました。



jam tun (ジャムタン)

セネガルの仕立屋さんと一緒に、雑貨づくりをしています。援助ではなく対等なパートナーシップで、継続的に村の発展や仕立屋の生活改善を支えるしくみづくりに取り組んでいます。アフリカンプリント生地を使った洋服やバッグなどの雑貨を販売。



バオバブ

私たちの会社の名前には、ここで働くさまざまな障がいをもった方たちの将来がアフリカの大地に根付くバオバブの木のようにどっしりと明るい未来になるように、という思いがこもっています。アフリカ布のバッグや小物、カレースパイスキットなどを販売。



NGO ネパール虹の家

ネパール地震の被災地支援として、サヌタリ村復興コミュニティづくり、4校への学校給食支援、女性自立支援プロジェクトを続け、子どもたちが笑顔で学べる環境づくりを進めています。現地女性グループが作ったバッグなどネパールグッズを販売。



NPO法人ルワンダの教育を考える会

戦争で心身共に傷ついたルワンダの子どもたちに対して教育の機会を与え、民族や宗教、政治思想にとらわれることなく、その人らしく生きていくためのさまざまな教育支援に関する事業を行っています。ルワンダのコーヒー、紅茶などを販売。



ミャンマー関西

ミャンマーの人たちと日本の人たちとの友好・共生のための活動や、日本に住むミャンマーの人たちの生活相談や生活支援活動及び日本語教室を開催。ミャンマーの歴史や現状を広く知ってもらうための広報活動もしています。



やんだくない

2013年東北支援を主として活動を開始。岩手県や福島県への訪問やイベントでの岩手県の物産販売を通じて、支援と被災地の現状を伝えています。今回は陸前高田市の作業所製造のソフトチップりんごと乾燥ごぼうを販売。



マゴソスクールを支える会

ケニア・キベラスラムにあるマゴソスクールはスラムの駆け込み寺です。学業支援の他、朝昼の給食や職業訓練などを行っています。支える会は広報や財政の支援活動をしています。マゴソスクールで作ったバッグやビーズ小物などを販売。



ダフェプロジェクト

岡山を拠点に日本とネパールの民間交流の活動を開始。ネパール国内の学習塾運営支援や公立学校図書館設置支援とともに在日ネパール人の生活相談、暮らしに役立つ情報発信などを手掛けています。雑貨やコーヒーなどネパールのフェアトレード商品を販売。



CHA

CHA (Cambodian Handicraft Association) は、カンボジアの地雷被害やポリオなどによる障がいをもつ女性たちが、縫製技術などを習得し、自立できることを目指して活動しています。彼女たちが作ったシルクボールネックレスなどシルク商品を販売。



Future Code BYCS

Future Code は、世界の災害・貧困地域へ医療支援や国際協力活動を行っている認定 NPO 法人です。大学生による学生部 BYCS では活動の一つとして、ブルキナファソの支援をしています。ブルキナファソのシアバターを使ったハンドクリーム「ハダニシア」を製造販売。



石光商事株式会社

会社のモットーは「世界の食の幸せに貢献します」。コーヒー等の輸入・加工・販売を通じた消費者の幸せと、発展途上国との深い関わりから築いたパートナーシップによる生産者の雇用確保や技術向上に貢献。淹れたてのコーヒーを配り、商品の売り上げはユニセフ募金に。

PERFORMANCE

パフォーマンス



和太鼓演奏

神戸市立須磨翔風高等学校和太鼓部「大地」
神戸市立神戸西高等学校和太鼓部の活動を受け継ぎ、平成 21 年の開校と同時に創部。一打一打を大切にしながら日々の練習に励み、地域でのイベントなどでも積極的に演奏を続けています。生徒の皆さんが打つ太鼓の音が大きく小さくうねり、会場にそして参加者の心に響き渡りました。

人形劇

『ユウキのふしぎなおかいもの』

兵庫県立伊川谷高等学校ボランティア部

コロナ禍の制約の中で、これまでと違う形での活動として SDG s を伝える人形劇を始め、新作がこのつどいで初上演されました。本格的な装置と音響や人形たちの楽しいやり取りに小さな子どもも大人も劇の世界に引き込まれていました。



ユニセフコーナー

大きなユニセフすごろくのシートを広げ、自由に過ごしてもらった場所を作りました。参加ブースの方が子どもに折り紙を教えたり、高校生が小さい子どもに絵本を読んであげたりするほほえましい光景が見られました。



ハト風船

2013 年から毎年 3 月 11 日に宮城県名取市^{ゆりあげ}関上で行われている「追悼のつどい^{ついで}」でメッセージの書かれたハト風船が空に放たれます。この日の参加者にも 3 羽のハト風船に寄せ書きをしてもらいました。



ホールの外、ホワイエには小さい子どもも楽しめるコーナーや SDG s を知るコーナー、東日本大震災で亡くなった方々へ思いを寄せるメッセージコーナーを設けました。

ユニセフひろば

UNICEF SQUARE

2 ユニセフ学習会



いくさと 生郷自治振興会

この学習会ではまず身近な例としてコープこうべのSDGsの取り組みを説明しました。

次のワークショップではSDGsの目標に沿う各自治会の取り組みを挙げてもらい、さまざまな実践例を共有しました。普段やっていることがSDGsの目標にかなっていて、SDGsは難しいことではなく身近なものであることを知っていただきました。質疑応答ではユニセフやSDGsについてのたくさんの質問があり、参加者も講師も理解を深めるいい機会になりました。

(酒井登、福井沙織)

神戸市立高倉中学校

2年生対象の出前学習会では、SDGs・子どもの権利条約・水と衛生のテーマで話をしました。子どもの権利条約を通じて自分たちにも意見を言う権利があり世界を変えることができること、また水と衛生の話と水がめ運び体験からは世界にはさまざまな状況で暮らしている人々がいることを学びました。遠い国の話ではなく身近な問題としてこれからも関心を持ってもらえるよう、ユニセフの活動を伝えていきたいと思えます。

(福井沙織、樋口陽子)

from Volunteers

できる時にできる事を

高校生の時に見た「地球のステージ」をきっかけに、ユニセフに興味を持ち、ボランティアに参加しました。国際理解講座や「地球のステージ」などに参加する中で、さまざまな世界や人々について知ることができ、自分自身の視野も広がりました。現在保健師として働いていますが、「地球のステージ」で見た、人々の「生きる強さ」に私自身とても力をもらい、住民と関わる時は、その人の強みやどんな暮らしをしたいか等を見つけるように意識しています。



現在は県外に住んでいるため、活動に参加できる機会も少ないですが、兵庫県ユニセフ協会のモットーである「できる人が できる時に できる事を」を思いながら、私自身できる時にできる事をしていきたいと思えます。

(上野恵里)

Activities File 活動ファイル



兵庫県ユニセフ協会の活動履歴

2023年1月～4月

活 動 一 覧

Activities List

開催方法 (O)…オンライン (H)…ハイブリッド(会場/オンライン)

学習会一覧

月日	訪問先	対象	人数
1月13日	兵庫県立須磨東高等学校	1年生・教員	5
2月 5日	丹波市生郷自治振興会	大人	25
2月 8日	加古川コープ委員会	大人	15
2月10日	神戸市立高倉中学校	2年生・職員	115
4月 9日	ボーイスカウト姫路第16団	小学生・大人	45

地域活動一覧

*ブース出展

月日	イベント名
1月22日	映画『ワタシタチハニゲンダ!』&高賀 侑監督トーク
2月23日	映画『ゆめバのじかん』&重江良樹監督と浜田進士さんトーク
3月 4日	ユニセフのつどい (H)*
4月29日	2023国際理解講座①「想いをカタチに 未来をつむぐ」

募金一覧

2022年11月～2023年2月

学校・団体名
兵庫県立篠山鳳鳴高等学校インターアクト部、コープこうべ生活文化センター、生活協同組合コープこうべ、ベルリンガーズLene、(私)市川高等学校、いなみ野学園いなみ野祭実行委員会、A-BridgeCUP事務局浦本健太郎、兵庫県立伊川谷高等学校ボランティア部、甲陽園地区青少年愛護協議会会長安田恵里子、湊ハマ株式会社、西宮市立浜脇中学校、(一社)日仏友好シャンソンKAKEHASHI風かおる 外貨募金:西宮ホワイトライオンズクラブ ご協力ありがとうございました。(兵庫県ユニセフ協会関係分 敬称略、順不同)

1 募金贈呈

2月27日(月)湊ハマ株式会社様から、より困難な立場にいる子どもたちに届けて



くださいと、昨年に引き続き多額の募金をいただきました。

代表取締役会長兼社長石見安仁様(写真左)に、日本ユニセフ協会会長赤松良子に代わり当協会会長黒木稔より感謝状をお渡ししました。心より感謝申し上げます。

3 映画上映会&トーク

映画『ワタシたちハニンゲンダ!』 &高賛侑監督トーク

日時 2023年1月22日(日)
会場 西宮市大学交流センター
参加者 91人

現在日本には約300万人もの在留外国人が暮らしています。この映画は在日韓国・朝鮮人、非正規滞在、技能実習生、難民、入管などさまざまな外国人問題に焦点を当てたドキュメンタリーです。戦後GHQと政府の韓国・朝鮮人に対する厳しい政策に対し、差別や偏見の中で人々は人間の誇りをかけて闘ってきました。また技能実習生には転職の自由はなく、低賃金など人権を侵害する受け



高賛侑さん

朝鮮大学校卒。詩・小説の創作、演劇の脚本・演出多数。2019年朝鮮学校の歴史と現状を描いたドキュメンタリー映画『アイたちの学校』監督。キネマ旬報文化映画ベスト・テン選出。日本映画復興奨励賞受賞。

1月と2月に映画の上映とトークが行われました。映画によせる思いなどを聞き、映画をより深く知る機会になりました。

入れ先もあり、非正規滞在や自殺に至るケースも発生しています。世界人権宣言は「すべての人間は生まれながらにして自由であり、かつ、尊厳と権利とについて平等である」とうたっています。取材を受けた人権侵害に苦しむ人たちは口々に言います。「私たちは動物ではない。私たちは人間だ」と。

上映後高監督のお話がありました。

高さんは在日朝鮮人2世として大阪で生まれ、朝鮮人であることを隠して心を傷つけていましたが、朝鮮大学校を知り、自分の一生は朝鮮人差別を無くすために捧げると決意。海外のコリアンたちの状況も知り、日本での朝鮮人に対する差別はあまりにも異常だとわかり映画を作りました。

今回は、国家が自ら不条理な法律・制度を作り外国人を差別している現状に焦点を当て、字幕やナレーションをたくさん入れ歴史を知らない人にもわかりやすく作られています。より多くの人に観てもらい、それぞれの立場で何ができるのか考え、そして実行してほしい。高さんの願いです。

*この映画は2023年2月第5回「むのたけじ地域・民衆ジャーナリズム賞」大賞を受賞しました。

映画『ゆめパのじかん』 &重江良樹監督と浜田進士さんトーク

日時 2023年2月23日(木・祝)
会場 コープこうべ生活文化センター
参加者 85人

神奈川県川崎市にある「川崎市子ども夢パーク」=通称「ゆめパ」。駅前の工場跡地を利用した約1万㎡の敷地にプレーパーク、全天候型スポーツ広場、自由に過ごせる部屋、そして学校に行っていない子どもたちが育つ「フリースペースえん」などがあります。この映画は、泥遊びや虫の観察や木工など、自分がやりたいことに没頭できて誰もが安心していられる「居場所の力」と、自分なりに考え自分のペースで歩いていく「子どもの力」を2019年から3年にわたって記録したドキュメンタリー映画です。

大阪での子どもの居場所を守る活動から旧知の間柄だったお二人の対談は、軽やかながら中身の濃いものでした。

重江さんは子どもの居場所の映画が作りたくて、子どもたちと一緒に過ごしながらありのままの姿を撮ってきました。この映画のタイトルのキーワードは「じかん」。ゆめパは何者にも邪魔されずに自分の「じかん」を使える場所です。重江さんがうらやましく思っているのは、ここにいる大人には子どもが話をしやすいスキマがあり子どもと一緒に遊んでいること、コロナ禍でもゆめパを開けていられた行政との信頼・連携関係があることです。

子どもの権利の活動をしてきた浜田さんは、この映画を見た時に、

子どもに信頼されているからこそその映像だなと感じました。ゆめパは「川崎市子どもの権利に関する条例」に基づいて、子どもも企画会議に参加して作られ認定NPO法人が運営する“公設民営”の施設です。条例を形にしたところがすごいところです。「遊ぶ・学ぶ・あてにされる」というのが豊かな子どもの時間。いじめや虐待・自死など子どもが生きづらい今の社会で、居場所と遊びの権利が保障されることが問題解決のために大事と浜田さんは話しました。施設運営を担うNPOの理事長でゆめパの元所長である西野博之さんは「生きているだけで祝福される居場所を作りたいかった」と言っていました。いろいろな人間同士の化学反応によって豊かな居場所が生まれます。この映画を通して感じたことを伝え合い、大人も子どもも息がしやすい幸せな社会を作っていきましょう、と重江さんは締めくくりました。



重江良樹さん

大阪・釜ヶ崎を拠点に、子ども・非正規労働などをテーマに幅広く映像制作を行う。2016年公開のドキュメンタリー映画『さとにきたらええやん』は平成28年度文化庁映画賞・文化記録映画部門優秀賞受賞。



浜田進士さん

子どもの権利条約総合研究所関西事務所長。子どもの権利条約関西ネットワーク共同代表。自立援助ホームあらんの家&ミモザの家統括施設長。奈良市などの自治体で子どもに関する委員会に多く携わっている。

ユニセフ募金 Donations For Unicef

■ 通常募金

通信欄記載事項	振替口座	手数料
K1-280 兵庫	00190-5-31000	免除

■ 緊急・復興募金

	通信欄記載事項	振替口座
ロヒンギャ難民	ロヒンギャ K1-280 兵庫	00190-5-31000
シリア	シリア K1-280 兵庫	00190-5-31000
アフリカ栄養危機	アフリカ K1-280 兵庫	00190-5-31000
自然災害	自然災害 K1-280 兵庫	00190-5-31000
人道危機	人道危機 K1-280 兵庫	00190-5-31000
ウクライナ	ウクライナ K1-280 兵庫	00190-5-31000

*共通口座名義：公益財団法人 日本ユニセフ協会
 *郵便局窓口から専用振込用紙を使って振り込むと手数料は免除されます。専用振込用紙は事務局にありますのでご連絡ください。
 *トルコ・シリア地震への緊急支援募金は、上記の「自然災害」募金で受け付けています。



いつでも
どこでも
気軽に募金

<https://www.unicef.or.jp/sp/>

Wish^{vol.70}

ユニセフ兵庫ニュース Wish

2023年5月発行

発行：兵庫県ユニセフ協会

住所：〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18
コープこうべ生活文化センター2F

電話：078-435-1605 (平日10:00～16:00)

FAX：078-451-9830

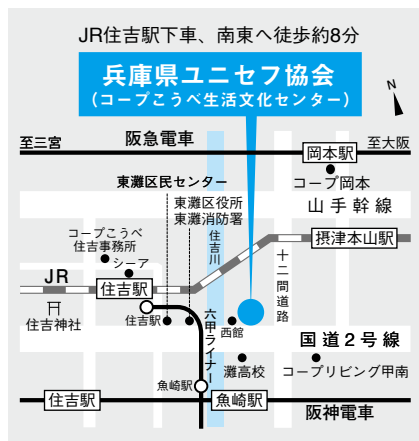
E-Mail：h-unicef@kobe.coop.or.jp

●最新の情報はホームページで

<https://office-bit.com/unicef-hyogo/>

兵庫 ユニセフ

検索



Join Us 主催イベント

参加費
無料

2023 国際理解講座② 「地域のおかあさんが笑顔で暮らせる社会を創る」

日時 6月10日(土) 13:30-15:00
 会場 兵庫県民会館 7F
 講師 山田美緒さん(KISEKI Ltd CEO)
 定員 40人



大阪外国語大学(現大阪大学)スワヒリ語専攻。在学中に自転車で日本人女性として初のアフリカ大陸8か国を単独縦断。その後世界各地24か国を自転車で旅し、サイクリストとして独立。現在はルワンダで3人の子育てをしながら、子ども食堂・託児所・職業訓練校・ICT教育など地域のお母さんたちのために幅広く活動中。池田市観光大使、高知県観光特使、エリトリア共和国観光親善大使。関西学院大学社会福祉学部非常勤講師。著書多数。

ユニセフ写真パネル展 「ウクライナの危機と子どもたち(仮)」

日時 8月1日(火)午後-10日(木)15時
 会場 コープこうべ生活文化センターロビー

参加申込みはホームページ上の
申込みフォームでも受け付けています。

お問い合わせ

TEL 078-435-1605

各日程は変更・中止になることがあります。
 詳細はホームページをご覧ください。

ユニセフ出前学習会



学習会の講師派遣を行っています。
 オンラインでの開催も可能です。
 お気軽にお問い合わせください。

News お知らせ

森のフェスタ2023(仮)に参加

日時 10月8日(日)雨天の時9日(月)祝
 会場 兵庫県立尼崎の森中央緑地
 出演 早川千晶さん(マゴソスクール主宰)
 大西匡哉さん(ケニア伝統太鼓奏者)

アフリカ太鼓と歌と語りの野外ライブです。



事務局からのお知らせ

日頃より、ご支援・ご協力いただきましてありがとうございます。

事務局長交代のお知らせ

このたび、当協会設立当初より事務局長を務めて参りました福井康代は3月末をもって退任いたしました。これまでのご厚情にお礼申し上げます。後任として河崎紀子が4月1日より就任しました。よろしく願い申し上げます。


事務所を移転しました

事務所が4階から2階に移転しました。移転に伴う電話・FAX番号の変更はありません。お近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。お待ちしております。

新型コロナウイルス感染症への対応

新型コロナウイルス感染症予防対策は徐々に緩和され、マスクの着用は任意になりました。ただし、施設の環境や感染などの状況に応じてお願いする場合があります。皆様のご理解をお願いいたします。

ユニセフ ひょうご サポーター



賛助会員募集中
 賛助会員となって、
 兵庫県ユニセフ協会の活動を
 支えてください。お申し込み、
 お問い合わせは事務局まで
 お願いいたします。

ユニセフひょうごサポーター
 入会申込書

unicef